

100を切るゴルフ

なかなかスコアがよくなる人のためのアドバイス集



Craig Roberts

オーストラリア・ゴルフ指導者連盟会員 (AGTF)。世界ゴルフ指導者連盟会員。World Golf Teachers Federation Top 60 Coaches 2006。

Vol. 3

チップングショット

これまで、パッティングが良くなるとスコアが良くなるというお話をしてきました。今回から、パッティングの前にグリーンに乗せるためのショット、チップングについてお話しします。

そもそもボールは、転がす方がコントロールしやすく、障害物がなければ、10m手前からでも、パターを使った方が上手に寄せられます。カップに向けて、10m手前から、ボールを持って投げて入れることと、転がして入れようとするを想像してみてください。ボールが飛んでいる時は、スピンの掛かり方によって、飛び方も変わり、風の影響なども受けてしまいます。転がす方が、明らかにカップに入る確率が高いでしょう。

チップングは、chip & run といって、藪やバンカーなどの障害物を跳び越し、転がしてピンに寄せることをいいます。40mぐらいの距離がある時は、チップングショットにしましょう。

Richmondでゴルフレッスン

最新シミュレーターのある Richmond の GOLFTEC で、ゴルフレッスンができます。天気の悪い日の練習に。数人でゲームもできます。ご予約は日本語でクレイグまで。



GOLFTEC
Training - Entertainment - Coaching

Mob: 0417-599-646 (クレイグ)
Email: craig@indoorgolfcentre.com.au
Web: www.indoorgolfcentre.com.au

チップングショットをする時は、6番アイアンや8番アイアンなど、自分で2~3本を使い分けると良いでしょう。ロフト角度が少ないほど遠くに飛び、転がる距離が長くなります。

Set up は、基本の「逆Kの字」で、グリッブも変わりありません。ただ、フルスイングより、やや短い1/2程度のスイングで十分です。チップング時のクラブ選びとスイングの加減は、経験を積むことでわかるようになります。練習でも、「このクラブで、この程度のスイングで打てば、どのくらい飛んで転がる」ということをよく見ておきましょう。写真も参考にしてください。

今回は、チップングショットと同様に使える『ピッチングショット』を説明します。この2つのショットを使い分けられるようになると、グリーンを外していても、寄せがうまくできるようになり、ボギーをパーに、ダブルボギーをボギーにすることができます。

